

「健康長寿笑顔のまち・京都推進プラン」（仮称）骨子案に対する市民の皆様からの御意見・御提言と本市の考え方

1 実施期間

平成30年1月10日（水）～平成30年2月9日（金）

2 応募方法

郵送，FAX又は電子メールなど

3 応募結果の概要

応募者数 298人

御意見・御提言数 797件

(1) 性別人数

	男性	女性	無回答	合計
応募者数（人）	113	168	17	298
構成比（％）	37.9	56.4	5.7	100.0

(2) 年代別人数

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答	合計
応募者数（人）	54	69	44	43	35	35	9	2	7	298
構成比（％）	18.1	23.1	14.8	14.4	11.8	11.8	3.0	0.7	2.3	100.0

(3) 京都市在住・在勤別人数

	京都市在住	その他	無回答	合計
応募者数（人）	212	78	8	298
構成比（％）	71.1	26.2	2.7	100.0

(4) 項目別御意見・御提言数

項 目		御意見・御提言数
1	基本理念について	1 9 6
2	取組方針について	1 4 7
3	そのほかの全体のことについて	1 5 7
4	取組方針 2 (1) 京都らしいライフスタイルへの転換を促進することによる健康づくり	8 2
5	取組方針 2 (2) 地域や人とのつながりの中で進める健康づくり	6 5
	①地域や民間団体の自主的な健康づくりの取組の推進	1 7
	②関係機関等との連携による健康づくりの推進	4 6
	③社会参加の推進と地域共生社会の実現に向けた取組	2
6	取組方針 2 (3) 健康づくりに取り組める環境の整備	9 8
	①だれもが健康づくりに取り組める仕組みづくり	1 2
	②正しい健康情報の普及・啓発と生活習慣の確立・改善に向けた支援	3 6
	③心身の状態に応じた健康づくりの支援	2 4
	④「望まない受動喫煙」対策による健康的な生活環境づくり	1 1
	⑤身近な場所で健康診査等を受けられる環境づくり	1 5
7	その他	5 2

＜参考＞以下の３項目の設問を設け、市民意見募集を実施。

- ① 骨子案では、基本理念として、「京都ならではの地域力・文化力の強みを活かした健康づくりを市民ぐるみで推進」することを掲げました。この点について、どのようなお考えをおもちですか。
- ② また、取組方針として、すべての市民の皆様が、「地域の人と人とのつながりの中で」「笑顔で主体的に楽しみながら健康づくりに取り組む」ことを掲げました。この点について、どのようなお考えをおもちですか。
- ③ 骨子案全体を御覧になったの御意見や、骨子案に掲げた各取組に対しての御提案等があればお聞かせください。

4 骨子案から修正・追加したもの ※表中の（ ）内の数字は御意見・御提言数になります。

(1) プラン名称

意見	本冊子への反映
高齢者の健康づくりのプランにみえる。全世代の健康づくりが分かるようなプラン名称にしてはどうか。(2)	健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン ～全ての市民が健康づくりに取り組むまちづくりを目指して～

(2) 第2章「健康づくりの現状と課題」

意見	本冊子への反映
現行プランの評価をしないのか。(4)	健康づくりに関する意識調査に加え、食育及び歯科口腔保健に関する調査に関して追記し、内容を充実させ、その中で市民の健康状況の変化について追記。(P 5～8)

(3) 第3章「本市が目指す健康づくりの姿」

意見	本冊子への反映
健康寿命の算出方法が確定すれば、数値目標を定めるのか。(2)	「1 基本理念」の説明に以下の説明を追記。 国において京都市の数値が公表された段階で、数値目標の設定等、健康長寿のまち・京都市民会議で議論してまいります。(P 11)
図を入れるなど分かりやすくした方が良い。(33)	「取組方針の体系図」を追記。(P 12)

(4) 第4章「京都ならではの地域力・文化力の強みを活かした健康づくり」

意見	本冊子への反映
地域力・文化力と健康づくりの結びつきを具体的に示してほしい。(44)	地域力・文化力と健康づくりとの結びつきを分かりやすくするよう、取組方針1の説明に以下の説明を追記しました。(P 11) 例えば、休みの日に出かけて、京都が誇る寺社仏閣など多くの文化遺産を歩いて楽しんだり、自治会・町内会等の地域団体が行う行事や学区民体育祭などの取組に参加することで、体を動かし、しっかり食べ、適度な疲労によりしっかりとした睡眠をとる、これらが体とこころの健康づくりに繋がります。また、人とのつながりを持つことも認知機能の維持向上など、健康づくりにつながるものです。 こうした京都の日常生活のなかで取り組む健康づくりが“京都ならではの健康づくり”であると考えています。 健康づくりとの結びつきを分かりやすくするよう、本冊子に説明を加えました。

意見	本冊子への反映
体の健康だけでなく，こころの健康もバランスよく取り組む必要がある。（３）	・「真のワークライフバランス」の記載内容を充実。（Ｐ１６） ・各項目に「こころの健康」に関する取組を追記。
大学生など若い世代や働く世代の健康づくりが重要である。（２３）	「大学，民間企業，商業施設，関係団体等との協働による健康づくりの取組」，「民間企業等と連携した働く世代の健康づくり」（Ｐ１９）について，具体的な取組を追記。
人生の転換期が健康づくりを意識して取り組む必要がある。（３）	「人生の転換期における健康づくり」を追記。（Ｐ２３）
受動喫煙対策を進めてほしい。（５）	健康増進法の一部改正内容については完全実施していくこと，法で義務化される内容にとどまらず，本市独自の取組として，あらゆる場面での受動喫煙防止に向けた取組を推進することを追記。（Ｐ２４）
健（検）診の重要性についてふれるべき。（６）	「身近な場所で健康診査を受けられる健康づくり」の項目に健康診査の重要性及び本市が実施している主な健（検）診について，コラムとして追記。（Ｐ２６，２７）

(5) その他

意見	本冊子への反映
全体的に知らない単語があるので読みにくい。（３）	健康寿命，平均寿命やそのほか各事業において説明が必要なものに注釈を追加。
それぞれの専門的な関係機関・団体等と健康づくりの基本となる運動等分野別の取組が大切であり，プランにも分野ごとに記載すべき。（２２）	第４章「京都ならではの地域力・文化力の強みを活かした健康づくり」に掲げる主な取組について，健康づくりに必要とされる要素（分野）に関係する機関・団体等と認識を共有し，連携した取組を推進していくため，要素（分野）別にとりまとめ（再掲）しました。

5 その他の意見の内容と本市の考え方 別紙のとおり

「健康長寿笑顔のまち・京都推進プラン」(仮称) 骨子案に関する市民の皆様の主な御意見と御提言に係る本市の考え方

1 基本理念について(196件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	基本理念として賛成。 京都ならではの取組を推進してほしい。	132	基本理念に掲げる京都ならではの地域力・文化力の強みを活かした健康づくりを市民ぐるみで推進してまいります。
2	京都ならではの。 文化力と健康づくりの結びつきを具体的に示してほしい。文化力の意味は。	44	「京都の文化力」や「京都ならではの」というのは、身近にある文化財や芸術、衣食住、地域の絆など京都の暮らしの中に息づく文化のことや、本市が推進している健康にも環境にもやさしいライフスタイルのことを言います。 例えば、休みの日に出かけて、京都が誇る寺社仏閣などの文化遺産を歩いて楽しんだり、京都に根づく自治会・町内会等を中心に行われる地域行事などの活動に参加することで、体を動かし、適度な疲労によりしっかりと睡眠が取れる。これらが体とこころの健康づくりに繋がります。 また、人とのつながりを持つことも認知機能の維持向上など健康づくりにつながるものです。 京都の日常生活のなかで取り組む健康づくりが「京都ならではの健康づくり」であると考えています。 健康づくりとの結びつきを分かりやすくするよう、本冊子に説明を加えました。(P13)
3	基本理念は覚えやすい内容にしてほしい。 市民に伝わりやすい表現、キャッチフレーズを検討すべき。	4	健康寿命の延伸の伝わりやすい表現、キャッチフレーズについては、健康長寿のまち・京都市民会議(伝え方検討部会)等において、市民の皆様に分かりやすい内容を検討してまいります。
4	基本理念にある、「地域力・文化力」がない方がすっきりして良いと思う。「京都の強みを活かした～」でも良いのでは。	3	本計画では、健康づくりの基本となる生活習慣の要素に加え、「地域コミュニティ」の中での健康づくり、京都の「文化」の中で取り組む健康づくりなど、生活習慣を変えるきっかけとして京都らしいライフスタイルへの転換を促進することによる健康づくりを推進していくことから、基本理念として、「京都ならではの地域力・文化力の強みを活かした健康づくりを市民ぐるみで推進」することを掲げました。 京都の強みをより明確にするため、地域力・文化力を加えています。(P11)
5	健康寿命の他都市比較を載せ、全国一番や健康寿命世界一を掲げてはどうか。またはスローガンとして人生100年を掲げてみては。	3	健康寿命の年齢については、国において京都市の数値が公表された段階で、お示しいたします。(P11) 健康寿命の延伸に向けたスローガンについては、健康長寿のまち・京都市民会議(伝え方部会)等において検討しているところであり、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
6	「健康長寿のまち・京都」について「健康長寿笑顔のまち・京都」を目指す姿としてはどうか。	3	「笑顔」はご意見のとおり大切な視点であると考えております。 本プランにおいては、基本理念に笑顔でいきいきと健やかな「健康長寿のまち・京都」をみんなで実現しますとしており、目指す姿としております。(P11)
7	笑顔、いきいきと、健やかななど似たような言葉が並んでいるので、もっとシンプルにしてほしい。	2	健康づくりは、毎日の生活の中で、「笑顔」で楽しみながら続けていくことが重要であり、健康づくりにより市民の皆様が毎日を「いきいき」と「健やかに」を過ごす様子を伝えたいと考え、「笑顔」、「いきいき」、「健やか」という表現を使っております。(P11)
8	健康寿命の算出方法が確定すれば、数値目標等を定めるのか。	2	健康寿命については、国において京都市の数値が公表された段階で、数値目標の設定等、健康長寿のまち・京都市民会議で議論してまいります。(P11)

9	市民ぐるみで推進ではなく、身近なことから健康づくりという表現にできないのか。	1	市民の皆様一人ひとりが、身近なところから自身に合った健康づくりに取り組むことが重要であります。一人ひとりの取組が市民ぐるみの取組に繋がるものと考えております。 取組方針では、京都のまちの日常生活にある地域や人とのつながりの中で楽しみながら健康づくりに取り組んでいくことを掲げており、身近なことから健康づくりを推進するという観点を盛り込んでおります。
10	健康長寿のまち・京都推進プロジェクトで言っていることとこの基本理念で言っていることは同じことなのか。	1	基本理念にある内容は、健康長寿のまち・京都市民会議等の取組と共通した考え方です。
11	基本理念は賛成だが、5年の計画期間で達成できますか。	1	毎年、京都市民健康づくり推進会議で進捗管理を行い、達成を目指します。

2 取組方針について(147件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	取組方針内容について賛成。	108	市民の皆様が、地域の人と人とのつながりの中で笑顔で主体的に楽しみながら健康づくりに取り組める環境づくりを推進してまいります。
2	取組方針に基づいた具体的な取組を示してほしい。取組方針1と2の関係を図示したほうが分かりやすい。 市民の健康づくりを進めたい気持ちが伝わり、方向性も良いと思うので、どう進めていけるかが分かれば良い。	11	市民の皆様とともに地域での健康づくりの輪を広げ、本プランに掲げる基本理念を実現するため、どのように進めていくか、本冊子ではより具体的な取組を挙げました。 取組方針1と2の関係は、分かりやすいよう図を加えました。(P12)
3	笑顔で取り組める内容を盛り込んでほしい。 笑うことが健康につながると感じるので、笑顔が広がる取組を推進してほしい。	9	笑うことは、体やこころの健康づくりに繋がります。また、健康づくりは、毎日の生活の中で、楽しみながら続けていくことが重要だと考え、本プランの名称や文章に「笑顔」という言葉を入れています。 例えば、いきいきポイントやいきいきアプリ等を活用し、仲間と一緒に楽しんで取り組める健康づくりに取り組んでいただくなど、健康づくりの輪を広げてまいります。 保健福祉センターにおいては、地域に出向いて健康づくり事業を実施しており、より楽しみながら健康づくりに取り組んでいただけるようなものにしていきたいと考えています。
4	地域とのつながりより、食・運動・歯など健康づくりの基本にふれないのか。	4	食・運動・歯など生活習慣の改善は健康づくりに不可欠な要素です。取組方針1及び取組方針2の中に、身体活動・運動、栄養・食生活など生活習慣を構成する要素(分野)に関する内容を盛り込んでおります。 また分野ごとの取組を分かりやすくするため、分野ごとに再掲しました。(P33～P47)
5	規則正しい生活習慣が健康づくりの基本であると思う。取組方針は、こういった観点を土台にしてのものか。	4	正しい生活習慣を身につけることは健康づくりの基本であることから、取組方針2に掲げているとおり、生活習慣について、正しい健康情報を提供し、市民の皆様の生活習慣の確立や健康増進を支援します。(P11)
6	自分の健康は自分で守るという主観的な趣旨も重要だと思う。	4	御意見について、取組方針に記載のとおり、「健康づくりは市民一人ひとりが正しい知識を持ち、自ら生活習慣を変えなければ効果を上げることができません。」と掲載させていただいております。(P11) 本市では、市民の皆様が主体的に健康づくりに取り組んでいただけるよう、関係機関・団体等と連携して環境づくりに取り組んでまいります。

7	取組方針に対しての行政の役割は。また、方針の達成状況をどうやって確認するのか。行政はその二つをつなげる役割や市民の行動変容を促す取組を行うことが必要である。	3	健康づくりは、市民の皆様一人ひとりの状態に応じて主体的に取り組んでいただくことが重要ですが、それを支える環境づくりも重要であると考えております。 本市では、主に取組方針2に掲げる市民の健康づくりを支える環境づくりに取り組んでまいります プランに掲げる項目は、健康づくり推進会議において、進捗管理を行い、推進してまいります。 また、市民の皆様の健康づくりの取組状況を経年で把握するアンケート調査等も市民の健康づくりの取組状況を把握するための参考にしていきたいと考えております。(P13)
8	笑顔と楽しむは同義ではないか。	2	健康づくりは、毎日の生活の中で、笑顔で、楽しみながら健康づくりを続けていただくことが重要だと考え、盛り込みました。2つの言葉は同じ趣旨で使っています。
9	健康増進の観点を取組方針に入れないのか。	1	「本市の健康づくりに対する考え方」に記載しているとおり、がん、心疾患、糖尿病などの生活習慣病を予防するためだけでなく、健康を増進していくためにも、若い世代から、心身の状況などに応じて自分に合った正しい生活習慣の確立と健康づくりが大切です。そのため、健康づくりに重要となる生活習慣について、正しい健康情報を提供し、生活習慣の確立や健康増進を支援することを掲載しております。(P10, 20, 21)
10	主体的にという表現を「自らが」「自身」「自発的に」などに変えてみてはどうか。	1	「自発的」は、自ら進んで行う、「主体的」は、自分の意志・判断に基づいて行動するという意味がありますが、健康づくりには、一人ひとりが正しい知識を持ち、自ら生活習慣を変えなければ効果が上がらないことを踏まえ、主体的という言葉を使っております。

3 そのほか全体のことについて(157件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	全体的に良い内容になっていると思う。	48	市民一人ひとりが笑顔で主体的に楽しみながら健康づくりに取り組むとともに、社会や地域全体で健康づくりに取り組んでいく環境づくりを目指し、本プランに掲げる取組を推進してまいります。
2	健康長寿のまち・京都市民会議と連携した取組を進めてほしい。健康づくりを様々な分野と連携させてほしい。市民と行政が連携し取組を推進してほしい。	26	市民団体、関係機関、民間企業等が参画する「健康長寿のまち・京都市民会議」を中心に、本市と関係機関・団体等が連携し、京都の市民力・地域力を結集させ、社会や地域全体で市民が主役の健康づくりを支える環境づくりを推進しています。 さらに区・支所においては、関係機関や団体等と連携して、地域の皆様の自主的な健康づくりを支援する、健康づくり教室等を開催しています。
3	読みづらい。 全体として、取組内容が抽象的であり、行政が何に取り組むのかかわかりにくくなっているのので、プランの構成など図を入れたほうが良い。	22	本冊子では注釈を加えたり、図を入れる等分かりやすく工夫をしました。
4	文化を全面に押し出しているが、健康づくりの基本となる要素を入れてほしい。	10	健康づくりには生活習慣の改善が必要です。しかし、例えば、しっかり食べましょうといっても、食欲がないと食べることができません。 本プランでは、生活習慣の改善に加えて、生活習慣の改善に繋がる日常生活の行動(京都のまちを歩いて楽しみましょうなど)から促すことで、市民の皆様の健康づくりを推進しようと考えております。 本冊子では、健康づくりの基本となる生活習慣の観点の取組も進めるため分野別にも取りまとめをしました。(P33～P47)

5	数値目標を定めないのでか。	6	今後、市民の皆様の健康づくりの取組状況を経年でアンケート調査し、結果を踏まえて、健康長寿のまち・京都市民会議等において、分かりやすく具体的な取組目標等の設定を検討してまいります。(P15)
6	健康づくりに関心のない人が親しみを持てるような取組を展開してほしい。市民のアンケート調査等により浸透状況を確認してほしいか。	6	日常生活を楽しみながら健康づくりに取り組む視点を基本としつつ、人生の転機、働く世代など健康を意識しやすい時期へのアプローチ、保健福祉センターにおける地域での健康づくり事業など関心を持ってもらう取組を推進していきたいと考えています。 加えて、いきいきポイントやいきいきアプリ等を活用し、仲間と一緒に楽しんで取り組める健康づくりに取り組んでいただくなど、健康づくりに無関心な層も巻き込んで、健康づくりの輪を広げてまいります。(P16) 取組方針1に掲載しておりますとおり、市民の皆様の健康づくりの取組状況について経年でアンケート調査を実施し、健康づくりの浸透状況を把握してまいります。(P15)
7	現行プランの評価をしないのか。	4	「第2章 健康づくりの現状と課題」の「2 市民の健康に関する意識」において、健康づくりに関する意識調査に加え、食育及び歯科口腔保健に関する調査に関して追記し、内容を充実させました。その中で市民の健康状況の変化について掲載しています。(P5～8)
8	地域力・文化力が健康寿命の延伸に結びつくのか。健康寿命の延伸は健康に関するデータを分析して取組を進めていく必要がある。健康寿命の延伸を前面に示してほしい。	4	地域や人とのつながりを持つことや文化にふれることは、運動やリフレッシュにつながり、健康づくりのきっかけになるものです。 また、健康づくりは継続することが大切で、誰でもできる日常生活の中で、楽しみながら取り組むことも大切です。 市民向けの調査では、多くの方が健康づくりの必要性を認識しているにもかかわらず、実際には取り組めていない方が多いのも現状としてあります。 このため、本プランでは、京都ならではの身近にある地域力や文化力を活用して、健康寿命の延伸に結びつけようと策定しました。(P13) 健康に関するデータ分析も健康づくりに効果的であると考えております。このため、本市においては、将来予想される保健医療データ等のビッグデータの活用の研究を掲げています。(P19)
9	科学的な分析が足りていないように思う。	2	地域における健康づくり事業において、関連数値を分析し、地域診断を行い、健康課題に基づく事業展開に活用していくこと、今後民間や大学などの活力をいかし、保健医療データ等のビッグデータの活用など、健康づくりに有効な取組を研究していくことを掲載しております。(P19)
10	これまでの健康づくりプランにあった6分野の取組が少なくなっているが、重要度、優先度は低くなったのか。現在ある各指針をどう取り扱うのか。	2	生活習慣の基本となる栄養・食生活、歯と口の健康など6つの分野の取組もこれまでのプランと同様にまとめており、重要度、優先度は変わっておりません。(P33～P47) これまでの各指針は、プラン本冊子にまとめることで、計画として位置付け、一体的に取り組んでいきたいと考えております。
11	「健康長寿のまち・京都」が定着してきている中、あえて「笑顔」をプラン名に入れる必要はないのではないか。	2	プランにおいては、プランに基づく取組に基づき「健康長寿のまち・京都」を目指すことで、市民の皆様が笑顔でいきいきと健やかに過ごすことを願って「笑顔」を名称に加えました。「健康長寿のまち・京都」を目指すとともに市民の皆様が笑顔で過ごせるよう取組を進めてまいりたいと考えております。
12	プラン名称が高齢者を対象とした内容に感じる。全世代を対象に、市民ぐるみを推進するならそれが分かるプラン名称にしてほしい。	2	サブタイトルとして、「全ての市民が健康づくりに取り組むまちづくりを目指して」を追加し、全ての世代の健康づくりのプランであることを分かりやすく伝えてまいります。

13	京都市の特徴的なプランを集めてきた感じで、一貫性がないように感じる。それぞれの局で多くのプランが作成されているので、それらの全体像を示してほしい。	2	本プランに掲げている関連プランは、健康づくりのきっかけとなる、ライフスタイルの転換につながるプランを掲げております。(例えば、歩くまち・京都では、歩くことは、取り組みやすい運動であり、健康づくりに繋がるなど)これらは、取組方針2(1)に説明とともに加えています。(P16, 17) 本市では、様々なライフスタイルを転換する取り組みを進めており、ご自身にあった取り組みをしていただければ幸いです。
14	基本理念、取組方針、具体的内容を上手に連携して進めてほしい。	1	基本理念の下に、それを実現するための取組方針があり、それを具体化したものが、具体的な取組内容になっています。それらを連携して進める形としております。
15	「京都市民長寿すこやかプラン」「京(みやこ)地域福祉推進指針」等との関係性が分かりづらいです。プランが多すぎると困惑するので、一本化してはいかがか。	1	すこやかプランとは、高齢者の健康づくり、地域福祉推進指針とは、地域共生社会の実現(地域で人とのつながりの中で取り組む健康づくり)に、つながっています。 本市の取組は多岐にわたっており、全体としては京都市基本計画を策定しておりますが、分野ごとには分野別計画を策定しております。
16	このプランは京都ならではの地域力・文化力の強みを生かしたとありますが、健康長寿のまち・京都市民会議の参画団体に地域力・文化力を専門とする団体が入っていないのはなぜか。	1	市民会議の参画団体には、地域関係団体や文化関係団体も入っています。(P31)
17	市民が主役の健康づくりの「体をまもる」の項目をもう少し強調してはどうか。	1	取組方針2(3)⑤に掲げているとおり、身近な場所で健康診査等を受けられる環境づくりに取り組むことを掲げ、さらに健康診査の重要性について説明を追記し、本市が実施している主な健(検)診について掲載いたしました。(P25)
18	地域より文化を押せばよいと思う。	1	健康づくりの基本とされる、食べる、動く、休むなどの要素だけでなく、そのきっかけづくりも大切であると考えております。 毎日の生活の中で京都が誇る寺社仏閣などの文化遺産にふれること、自治会・町内会等の地縁団体を中心に行われる地域行事や学区民体育祭などの取組に参加することも健康づくりにつながると考えています。
19	笑顔で楽しむ健康づくりを広めるためには、マスコミと連携することが良い。	1	いきいきポイント事業をはじめ、本市の様々な取組については、リビング新聞に毎月掲載するなどマスコミを活用した取組を行っています。
20	いきいきポイントや地域支え合い活動創出コーディネーターなど、知らない単語が多く読みにくい。	1	本冊子では適宜、単語に説明をつける等市民の皆様に分かりやすい内容となるよう追記しました。
21	全市民を対象としているが、高齢者に重点を置いているように感じる。	1	本プランでは、全ての市民がそれぞれのライフステージや状況において、健康づくりに取り組むことを目指しており、「京都らしい健康づくりの代表例」をはじめ、高齢者だけでなく全世代の健康づくりに関する取組を掲載しております。(P14)
22	福祉関係の計画との関連性は。	1	本プランに掲げている関連プランは、健康づくりにつながるプランを掲げております。(P4)

23	健康づくりの機運が高まってきているとあるが、どのような所で高まっているのか。	1	第2章健康づくりの現状と課題に記載しているとおり、健康に関心がある市民が約80%を超える、運動をはじめ健康づくりの取組をしている市民の割合が増えていることを踏まえて、健康づくりの機運が高まっているとしています。(P5～8)
24	計画を立てた後も毎年進捗管理を行う等、形骸化しないようにしてほしい。	1	毎年、京都市民健康づくり推進会議で本プランの進捗管理を行ってまいります。
25	京都市民が楽しく過ごせるような街づくりを目指してほしい。	1	基本理念に掲げる健康長寿のまち・京都の実現を目指して取り組んでいきます。
26	コラムでも良いので、妊娠、出産、子育てなど女性の健康づくりに関わる内容に触れてほしい。	1	取組方針2(3)③に妊産婦の健康づくりを。また、コラムで結婚・妊娠の転換期における健康づくりにも記載しております。(P22, 23)
27	京都市の死因別の死亡者と他都市と比較した場合どういった傾向があるのか。	1	悪性新生物、心疾患、脳血管疾患など生活習慣病が死因別の上位を占める傾向は他政令市と同様の傾向にあります。
28	健康づくりなのか、介護予防のプランなのか区別しづらいので、明瞭にしてほしい。	1	高齢者の介護予防と健康づくりの取組は一体のものであります。
29	健康づくりにはいろいろな要素が関係することが分かった。	1	本プランでは、健康づくりに関わる様々な取組を推進してまいります。
30	行政は様々な分野で計画を作っているが、必要なのか。基本計画みたいなものに集約してしまってもどうか。	1	本市の計画体系としては、京都市基本構想を具体化する京都市基本計画を策定していますが、各分野の施策・事業などの取組は多岐にわたるため、分野別に計画を策定しています。
31	介護予防の観点はすこやかプランにあるので、このプランには不要。健康づくりのカテゴリーにこだわって作成してほしい。	1	高齢期の介護予防と健康づくりは一体のものであるため、両プランにかかわる項目として盛り込んでおります。
32	今回のプランは健康づくりブームを作るといふコンセプトで進めるということか。	1	京都ならではの暮らしや文化の中で、人とのふれあいを大切にした市民の皆様の様々な健康づくりの取組をライフステージ等に応じて積極的に情報発信し、市民が主役の健康づくりの輪を広げてまいります。(P11)
33	一次予防の内容が多くあるが、二次予防の観点は記載しないのか。健康づくりには欠かせない要素だと感じる。	1	例えば、取組方針2(3)③高齢期の健康において、生活習慣病の重症化予防と介護予防の連携促進を掲げるなど、二次予防についても健康づくりには欠かせないものと考えております。(P22)
34	健康寿命の延伸には、介護予防の取組が重要だと感じるので、高齢部門との連携を図ってほしい。	1	地域介護予防推進センター等におけるフレイル(オーラルフレイル)対策を含む介護予防の取組(P18, 22)や生活習慣病の重症化予防と介護予防の連携促進(P22)を推進していきます。

4 取組方針2(1)京都らしいライフスタイルへの転換を促進することによる健康づくり(82件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	地域との結びつきと健康づくりの関連を示してほしい。 自治会の加入率の低下など、地域のつながりが希薄なっているため、そういった内容を強調すべき。顔の見える関係など地域のつながりづくりを進めてほしい。	19	地域と健康づくりの関係について、例えば、地域の行事に参加することで、運動にもつながり、日中活動することで、しっかり睡眠をとることもつながります。 また、地域の人とつながることは、日常生活の安心(こころの健康)にもつながります。 地域のつながりが強い地域は、そこに暮らす人も健康であるという調査結果もあります。 本市では関係団体・機関等と連携して健康づくりを通じて、地域づくりにも取り組んでいきます。
2	人と人のつながりが希薄になっていると感じるが、人とのふれあいを拒む方もいるため、つながりを主軸においた取組が上手いのか。もう少し現実的な取組方針にしてもいいのではないかな。 人づきあいが苦手な人もいますので、その人に合った健康づくりという視点も必要では。	14	本プランは、今後、本市の健康づくりの目指すべき姿をまとめたものなので、地域や人とのつながりの中で取り組む健康づくりを掲げています。 もちろん、人付き合いが苦手な方もいます。健康づくりは様々な形で、心身の状況などに応じて自分に合った健康づくりに取り組んでいただきたいと考えており、取組方針2(3)②に掲載しています。(P20, 21)
3	京都らしい取組が見えない。 京都らしいライフスタイルへの転換はどのように促進するのか。また、それにより、どのような健康増進が期待されるのか。	10	「京都の文化力」や「京都ならではの」というのは、身近にある文化財や芸術、衣食住、地域の絆など京都の暮らしの中に息づく文化のことや、本市が推進している健康にも環境にもやさしいライフスタイルのことを言います。 例えば、休みの日に出かけて、京都が誇る寺社仏閣などの文化遺産を歩いて楽しんだり、京都に根づく自治会・町内会等を中心に行われる地域行事などの活動に参加することで、体を動かし、適度な疲労によりしっかりと睡眠が取れる。これらが体とこころの健康づくりに繋がります。 また、人とのつながりを持つことも認知機能の維持向上など健康づくりにつながるものです。 京都の日常生活のなかで取り組む健康づくりが「京都ならではの健康づくり」であると考えています。 健康づくりとの結びつきを分かりやすくするよう、本冊子に説明を加えました。(P13)
4	寺社仏閣を回るような施策を取り組んでほしい。	5	寺社仏閣などの文化遺産を巡るスタンプラリー機能を備えたスマートフォンアプリ等の活用などを通じ、身近にある文化財や芸術に触れるとともに、衣食住、地域の絆など暮らしの中に息づく京都ならではの文化を大切に生活する中で健康づくりに取り組んでいきます。(P16)
5	地域力、文化力以外にも産業、観光なども京都の強みでは。文化芸術・産業振興を推進してほしい。京都ならではの文化として、漫画やアニメ、文学・映画などのコンテンツを活かしてほしい。	4	いきいきアプリ等を活用し、イベントや史跡、ロケ地を巡って「お出かけポイント」を取得するなど、楽しみながら文化にふれるような、健康づくりを推進していきます。
6	京都らしい健康づくりの代表例が分かりやすく良かった。	3	市民の皆様の日々の健康づくりの参考としていただけるよう、周知方法も含め検討していきます。
7	市民の健康づくりを表彰する制度は、独自色がありおもしろいと思う。	3	今後、市民団体、関係機関、民間企業等が参画する「健康長寿のまち・京都市民会議」を中心に、本市と関係機関・団体等が連携し、検討していきます。

8	毎日楽しんで健康づくりに取り組めることが継続に繋がると思うので、そういう内容を記載してほしい。	3	いきいきポイントやいきいきアプリ等を活用し、仲間と一緒に楽しんで取り組める健康づくりに取り組み、継続して日常生活を活動的に送ることを記載しております。(P16)
9	働き方改革と健康づくりをうまく組み合わせしてほしい。	2	京都の強みである「生活文化」や「地域力」を生かし、家族や友人、そして地域住民の方々とながって、自治会やボランティア活動に参加する、豊かな歴史、文化に触れ、スポーツを楽しむ、それが京都ならではの、「真のワーク・ライフ・バランス」、さらには働き方改革につながるものであることを記載しております。(P17)
10	若い世代から健康づくりの意識を持ってもらうことが大切。行政と教育が連携を深めることが必要。	2	保育園(所)等、学校等において給食だよりを発行し、家庭での望ましい食生活の実践と正しい栄養に関する知識の普及等の推進や、中学校における「喫煙防止教育」の実施など、若いころから、健康づくりについて意識して取り組むことが重要であると考えております。(P19)
11	胎児期からの健康づくりは具体的に何に取り組めばよいか。	2	妊産婦の方に対し、栄養、喫煙、飲酒等に関する取組をとおして、胎児期からの健康づくりを推進しております。(P22) また、小さい頃から地域の行事などへ参加することで、人とつながり、支え合い、安心して健康的に暮らすことができるまちづくりを推進してまいります。(P17)
12	食文化を活かした健康づくりを推進してほしい。	1	“京都をつなぐ無形文化遺産”として選定した「京の食文化」を伝えていくため、関係団体と連携し、京の食文化ミュージアム・あじわい館を活用して、健康長寿をテーマとした料理教室や講演会等を実施するなど、「京の食文化」の普及・実践を通じた健康づくりを推進してまいります。(P17)
13	ライフステージごとの健康づくりを推進してほしい。	1	取組方針1に各世代に応じた「京都らしい健康づくりの代表例」を記載しております。(P14)また、人生の転換期における健康づくりについて追加したこと(P23)、栄養・食生活、歯と口の健康、身体活動・運動、こころの健康、喫煙、飲酒など分野ごとに、各世代で意識していただきたい内容を追加しました。(P33～P47)
14	家族とのつながりにも触れてほしい。	1	取組方針1「京都らしい健康づくりの代表例」に記載しています。(P14)
15	地域とつながりながら元気に過ごせるよう頑張りたい。	1	京都のまちの日常生活にある地域や人とのつながりの中で市民一人ひとりが笑顔で主体的に楽しみながら健康づくりに取り組めるよう、それを支える環境づくりを進めてまいります。(P11)
16	良く寝て、食べて、運動するような分かりやすい内容がいいと思う。	1	取組方針1にも掲げている「京都らしい健康づくりの代表例」などで、各世代で健康づくりに役立つ生活習慣の代表例を挙げており、今後、それを活用するなど、市民に分かりやすく啓発してまいります。(P14)

17	笑うことは健康に良いので、例えばお笑い芸人をイベントに呼んだり健康づくりを面白おかしくやってもらってはどうか。	1	笑ったり、楽しみながら健康づくりに取り組むことは、大切な要素であると考えております。
18	国際都市の要素を入れては。	1	「京都遺産めぐり」の活用など、京都が世界に誇る文化財や芸術に触れることを記載しております。(P16)
19	醍醐寺の恒例行事「餅上げ」など京都の文化力を活かした健康づくりを進めてほしい。	1	身近にある文化財や芸術、衣食住、地域の絆など京都の暮らしの中で取り組む健康づくりが「京都ならではの健康づくり」であると考えています。
20	環境と健康づくりの関係がよくわからない。	1	例えば、環境に配慮し、自動車の利用を控え、歩いたり、自転車に乗って外出することも健康づくりにつながります。
21	京都らしい健康づくりの代表例の身だしなみとは何のことか。	1	いつまでも若々しく過ごすために、御自身の身だしなみに気を使うことも健康づくりにつながるという考えから記載しております。
22	家族や同年代との交流も薄くなっているのに、世代を超えてとかはあせりすぎ、もっと近くから交流すべき。	1	同世代での交流も含め、地域の中での人と人とのつながりを推進してまいります。
23	歩くまち・京都は景色がきれいで健康的でよい。ウォーキングやランニングコースがいっぱいあると色々選べて良いと思う。	1	いきいきアプリなどの活用をととして、ウォーキングやランニングコースなどの情報提供を積極的に行ってまいります。
24	生徒は地域との交流があまりないので、学校内で地域交流できる取組も考えてほしい。	1	地域に関わる諸団体では、生徒と地域の大人が語り合う「ふれあいトーク」や地域での防災訓練など、交流ができるイベントを実施しています。本市としても、より一層の充実を目指して、地域に関わる諸団体の支援を継続していきますので、御参加くださいますようお願いいたします。
25	働き方改革を打ち出してほしい。	1	取組方針2(1)に掲げる「中小企業の働き方改革」において、市内の雇用の約7割を担う中小企業における働き方改革が不可欠であることから、誰もが能力を発揮できる労働環境の整備などの中小企業の働き方改革の取組を支援してまいります。(P17)
26	地域コミュニティを通じた健康づくりは、健康づくりの成果を挙げる為に不可欠であると思う。そのためには、地域コミュニティの参画団体と区役所の担当職員との連携が大切であると思う。	1	本プランでは、地域の関係団体・機関と区役所・支所の担当職員が連携し、健康づくりの取組を市民へ働きかけ等を行うことにより、市民の皆様の主体的な健康づくり活動を支援する取組を推進します。

5 取組方針2(2)地域や人とのつながりの中で進める健康づくり

① 地域や民間団体の自主的な健康づくりの取組の推進(17件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	地域の人同士が交流できる交流会, 食事があれば良い。	4	地域の交流は健康づくりにつながります。御意見の活動が自主的に行われるのが望ましい地域の姿のひとつと考えます。 本市では, 地域コミュニティの活性化や福祉分野では, 社会参加の推進のため, 市民向けボランティア講座の開催などによるボランティア活動の参加促進, 地域支え合い活動創出コーディネーターの活動等を通じて創出された住民等による高齢者の様々なニーズに応える生活支援サービスが提供される地域づくりの推進に取り組んでおり, これらをプランに掲載しております。(P18, 20)
2	同年代だけでなく, 世代間交流も大切。	3	「地域における健康づくり事業」の実施を通じて, 市民の社会参加や市民同士のつながりを促進し, 市民や民間団体等が周りの市民への働きかけ等を行うことにより, 地域の皆様の主体的な健康づくり活動を支援してまいります。 また, 子どもからお年寄りまで幅広い世代が交流しながら, 一緒になって学び, 考えること目的とした多世代交流型イベントを実施しております。(P18)
3	健康等についてみんなで学んだり取り組んだりできるイベントがあれば, 地域とのつながりができると考える。	2	各区・支所等において区民ふれあい事業等の健康づくりに関する様々なイベントが実施されており, その中で参加者に健康等について学んでいただいております。(P18)
4	健康づくりに取り組むグループ作りが重要。人と人がつながりをもてるきっかけを色々作ってほしい。	2	健康づくりの担い手として活動される市民ボランティアの育成や多世代交流イベント等を活用した地域で健康づくり活動に取り組むボランティア等の交流等を推進してまいります。(P18)
5	地域の特性に応じた取組にふれてほしい。	1	地域における健康づくり事業を推進する中で, 地域の健康課題を分析し, 地域の特性に応じた取組を関係団体等とも協力して推進してまいります。(P18)
6	地域ボランティアと行政職員が連携して健康づくりに取り組んでいることを見かける。とても良いことなので他区でも推進されればよいと思う。	1	本プランでは, 健康づくりを通じて市民の社会参加や市民同士のつながりを促進し, 地域の皆様の主体的な健康づくり活動を支援してまいります。
7	保健福祉センターができ, 職員を身近に感じようになりうれしい。	1	今後とも地域における健康づくり事業などの取組を通じて, 保健福祉センター職員が身近な地域で, 地域の皆様の主体的な健康づくり活動を支援いたします。(P18)
8	各種イベント等で介護予防等健康づくりに取り組んでほしい。	1	例えば, 毎年, 秋に子どもからお年寄りまで幅広い世代が交流しながら, 一緒になって学び, 考えることを目的に開催している多世代交流型イベントの中で, 介護予防等についても紹介するなど取組を進めていきます。(P18)
9	個々人が健康づくりに関心を持ち, 地域ぐるみで取組を支えていきたい。	1	健康づくりは, 市民一人ひとりが正しい知識をもち, 自ら生活習慣を変えなければ効果を上げることはできません。このため, 市民の健康づくりを支える環境づくりを推進し, 市民が主体的に健康づくりに取り組む, 市民が主役の健康づくりの輪を広げてまいります。(P11)
10	地域で楽しく体を動かしながら交流を図るお手伝いができると思う。	1	本市では, 御自身で地域の健康づくりについて学び, 楽しみながら健康づくりを支援するボランティアである健康づくりサポーターなど, 市民ボランティアの養成に取り組んでおります。(P18)

② 関係機関等との連携による健康づくりの推進(46件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	働く世代や学生が取り組める健康づくりを進めてほしい。市民団体、民間企業等と、学校が協働して地域につながるイベントが増えることで、若い世代が将来像をイメージしやすくなり、健康への関心も高くなると思う。また、働き世代の地域とのつながりも薄く感じるので、職場でのつながりなど作ってはどうか。	18	民間企業等と連携し、運動への関心を持ち、通勤や仕事、家事など日常生活の中で体を動かすことが実践できる運動や一駅歩くこと、通勤靴での通勤等を推奨するなどの取組を進めてまいります。(P19) いきいきポイントやいきいきアプリ等を活用するなど、仲間と一緒に楽しんで取り組める健康づくりに取り組み、職場の中で健康づくりの輪を広げていただきたいと考えています。(P16) また、本市では、子どもからお年寄りまで幅広い世代が交流しながら、一緒になって学び、考えることを目的とした多世代交流型イベントを実施しております。各区等においてもそれぞれの特色をいかしたイベントを開催しておりますので、それらを発信することで、健康づくりへの関心を高めてまいります。(P18)
2	フレイル対策について新しく打ち出しているが、具体的な取組が不明瞭である。	4	本プランでは、地域介護予防推進センター等におけるフレイル対策を含む介護予防を推進してまいります。具体的な取組は、フレイルの周知方法も含めて検討してまいります。(P18)
3	簡単に健康づくりに取り組めるような内容にしてほしい。	4	いきいきポイントやいきいきアプリ等を活用し、仲間と一緒に楽しんで取り組める健康づくりに取り組んでいただくなど、健康づくりの輪を広げてまいります。(P16) また、時間がなくても通勤や仕事、家事など日常生活の中で体を動かすことが実践できる運動や一駅歩くこと、通勤靴での通勤等を推奨するなどの取組を進めてまいります。(P19)
4	全体的に健康に関するデータが少ない。例えば、各区や全国との健康データの比較などをするので京都市における課題が浮かび上がるのではないかと。京都ならではの特色があると思うので、力を入れてほしい。	3	健康に関するデータ分析も健康づくりの取組に大事な要素です。そのため、地域における健康づくり事業を推進する中で、地域の健康課題を分析し、地域の特性に応じた取組を民間団体等とも協力して推進してまいります また、今後民間や大学などの活力をいかし、保健医療データ等のビッグデータの活用など、健康づくりに有効な取組を検討してまいります。(P18)
5	大学、民間企業等との連携の具体的な取組が見えない。	2	具体例として、自由な時間が少ない働き・子育て世代が運動への関心を持ち、通勤や仕事、家事など日常生活の中で体を動かすことが実践できる運動や一駅歩くこと、運動靴での通勤等を推奨する取組などを検討しております。 また、大学と連携協定を締結するなど、大学と連携・協働し、健康づくり事業を推進してまいります。(P19)
6	良い案と思うが、地域とかかわりを持つことを望まない人も多いと思うが、そういった人たちにどうアピールしていくのか。	2	本プランは、今後、本市の健康づくりの目指すべき姿をまとめたものなので、地域や人とのつながりの中で取り組む健康づくりを掲げています。 もちろん、地域との関わりを持つことを望まない人もいます。健康づくりは様々なので、心身の状況などに応じて自分に合った健康づくりに取り組んでいただきたいと考えており、取組方針2(3)②に掲載しています。(P20, 21)
7	数値データなどを活用した方針にしてほしい。死因等を分析して、健康づくり施策を検討してほしい。	2	健康に関するデータ分析も健康づくりの取組に大切な要素です。そのため、地域における健康づくり事業を推進する中で、地域の健康課題を分析し、地域の特性に応じた取組を民間団体等とも協力して推進してまいります。今後民間や大学などの活力をいかし、保健医療データ等のビッグデータの活用など、健康づくりに有効な取組を検討してまいります。(P18)

8	大学と連携して地域のつながりを作ってはどうか。学生の力について触れてほしい。	2	学生の皆様と一緒に大学との協働による健康づくりを推進してまいりたいと考えていることから、大学と連携協定を締結するなど、大学と連携・協働し、健康づくり事業を推進することを掲載いたしました。(P19)
9	ボランティア活動だけでなく、起業者への支援を行ってはどうか。	1	医療、福祉現場と市内のものづくり企業をつなぐコーディネート活動等により、健康づくりに資する新たな製品・サービスの開発・事業化するなど、民間企業等と連携・協働による健康づくり事業を推進することを掲載いたしました。(P19)
10	外出することが億劫になる人もいる。それがフレイルに繋がるので、地域へ参加できるようなプログラムがあれば良いと思う。	1	本プランでは、フレイル対策について推進していくこととしております。 フレイル対策には、栄養、運動、社会参加への取組が効果的であることから、高齢期の健康づくりでは、地域介護予防推進センターにおけるフレイル対策を含む介護予防の推進を掲載しております。(P18, 22)
11	地域介護予防推進センターと色々な世代の人との交流があればよい。	1	高齢者が自由に集うことができ、高齢者同士だけでなく各世代との交流を図ることは、介護予防につながるものだと考えております。地域介護予防推進センターにおいては、地域の身近な場に出張して介護予防教室等を実施しているほか、地域での自主的な介護予防に関する活動を支援しておりますので、自主的な介護予防に関する活動の中で、様々な世代の方との交流に関する活動を検討されている場合は、相談に応じて、他の機関とも連携し、様々な世代の方との交流の方法を一緒に考えてまいります。
12	健康づくりを実践する時間を取りにくい働き盛りの世代に対する健康づくりへの環境整備は大変重要である。他の自治体では、働き盛りの世代に対する取り組みの一環として「ウォークビズ」を推進している事例がある。生活に密着した取り組みとして京都市も推進してはどうか。 ※「ウォークビズ」歩きやすい靴や服装を選んで出勤する新しいワークスタイル	1	本プランの中でも、働く世代の健康づくりについては重点的に推進していく取組としており、民間企業等と連携した取組等を検討しているところです。御意見いただいた「ウォークビズ」等についても、歩くことを推奨する取組であり、推進することを掲載しております。(P19)
13	健康づくりのブームを作るため、断続的にイベントを開催するなどしてはどうか。	1	関係機関等との連携により、各区・支所の特色をいかし、区民ふれあい事業等健康づくりを推進していくなど、今後とも様々な世代の方に参加いただく形で、多くのイベントを実施してまいります。
14	国でもスニーカー通勤を推奨したりしている。京都市も様々な手法を健康づくりに関連させてほしい。	1	自由な時間が少ない働き・子育て世代が運動への関心を持ち、通勤や仕事、家事など日常生活の中で体を動かすことが実践できる運動や一駅歩くこと、運動靴での通勤等を推奨する取組などを掲載いたしました。(P19)
15	京福電車でやっていたような電車の中で体を動かせるような取組を広げて行って欲しい。	1	各区等の特性に応じて、民間企業等と連携した取組を推進してまいります。
16	大学や民間活力を活かす趣旨の記載は不要だと思う。	1	大学と連携協定を締結し、健康づくり事業を実施したり、民間企業等と連携して、自由な時間が少ない人に対し、日常生活の中で体を動かすことが実践できる運動を開発するなど、今後、健康づくりの取組を充実していきます。(P18, 19)
17	民間の活力を活かした健康長寿のイベントを行って行って欲しい。 京都市には健康づくりに取り組める環境整備に取り組んでほしい。	1	本プランでは、市民一人ひとりが笑顔で主体的に楽しみながら健康づくりに取り組んでいけるよう、大学、民間企業、商業施設、関係団体等と連携・協働しながら健康づくりの取組や環境づくりを推進してまいります。(P18, 19)

③ 社会参加の推進と地域共生社会の実現に向けた取組(2件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	退職後からでも始められる健康づくり事業を普及啓発してほしい。	2	就職や退職などの人生における転換期では、環境の変化による生活習慣の乱れが起こることがあるので、人生の転換期における注意点を追記いたしました。(P23)

6 健康づくりに取り組める環境の整備

① だれもが健康づくりに取り組めるしくみづくり(12件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	近所には体を動かせる場所がないので、場所がなくてもできる健康づくりを作してほしい。	5	本市では、京ロコステップ+10など室内で気軽にできる健康づくりのメニューを紹介しています。 また、歩くことは健康づくりに有効であり、場所がなくても気軽に取り組める運動のひとつです。 本市では、地域における健康づくり事業等を通じて様々な運動をはじめ健康づくりの取組の普及に努めてまいります。
2	公園など人が集まれる場所を整備することで地域のつながりが生まれると思う。	2	本市では、市民の健康増進に繋げていくため、公園内に健康遊具やウォーキングコースの整備を推進しています。今後とも健康づくりの場として皆様に公園を活用していただけるよう取り組んでいきます。 本市には、古くなった公園が多数存在しており、これらの公園については、ワークショップを実施しながら、順次再整備を進めています。今後とも地域の方々のニーズに合った公園づくりに取り組んでいきます。
3	歩くことに取り組むことは良い。自転車道も整備してもらえると嬉しい。	2	2015年3月に策定した「京都・新自転車計画」で定めた重点地区において、車道の左側に自転車の走行場所と方向を示すベンガラ色の矢羽根等の路面表示を設置する自転車の走行環境整備を順次実施してまいります。
4	河川敷のサイクリングロードを歩けたら良いと思う。	1	京都市が管理するサイクリングロードは、歩行者の通行を制限しておりませんので、自転車と歩行者がお互いに譲り合う等のマナーをもって通行してください。 なお、京都府が管理するサイクリングロードについては、京都府へお問い合わせください。
5	公園を積極的に健康づくりに活用してほしい。健康遊具を設置している公園も見かける。	1	市民の誰もが、身近に健康づくりに取り組めるよう、健康づくりサポーターとの連携や健康遊具の利用など、健康づくりの場として公園を積極的に活用してまいります。
6	出町柳の川沿いのランニングコースを整備してほしい。	1	京都府管轄エリアの御意見でしたので、京都土木事務所に伝えさせていただきました。

② 正しい健康情報の普及・啓発と生活習慣の確立・改善に向けた支援(36件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	健康づくりに関する知識や取り組める場所等の情報発信を行政がしっかりやってほしい。(例、早朝のラジオ体操や各種イベント情報、健康づくりサークル情報等) より多くの市民に広めていけるよう、京都市公式のSNSを活用するなど、周知にももっと力を入れていただきたい。 また子どものときから健康づくりは続いていくということを7ページのようなものをつかって多くの人へ発信してほしい。	10	「健康長寿のまち・京都」ポータルサイトではSNSを活用し、いきいきアプリ、いきいき通信、リビング新聞などで、情報発信に取り組んでいるところです。 今後、創設を予定している、みんなの健康づくり表彰制度(仮称)では皆様の健康づくりの取組を表彰したり、それを発信することで、一緒に健康づくりの輪を広げてまいります。(P16)
2	若い世代の内容を盛り込んでほしい。高齢者を対象とした内容が多くなっているように感じる。 若い世代に対して、食事の大切さや健康、地域とのつながりをしっかり伝えてほしい。	6	働く世代の健康づくりの支援や、若者世代に対し、健康づくりへの関心を持ってもらうために、いきいきポイントや、いきいきアプリ等、様々な取組を展開し、全世代が健康づくりに取り組む環境づくりを推進します。 食事の大切さなどは、ホームページ「京・食ねっと」で家庭や地域における主体的な食育を推進するための総合的な情報発信を進めることを掲載しております。(P16, 18, 20)
3	伝わりやすい情報発信をしてほしい。 人と人のつながりを目指すのであれば、情報発信に力を入れてほしい。集まりがあっても知ることができない人もいます。	6	一人ひとりの健康づくりの取組を募集し、その取組を表彰したり発信したりすることで、健康づくりの輪を広げてまいります。いきいきアプリ、いきいきポイントや京都市情報館など様々な媒体を活用し健康づくりの情報発信を行ってまいります。 地域のひとと人のつながりの中で笑顔で主体的に楽しみながら健康づくりに取り組める環境づくりが浸透させるためには、行政だけでなく、大学や関係団体、民間企業等の活力とも連携を図りながら、広報活動や取組を推進してまいります。
4	取組方針1の内容は、情報発信しかないように思える。市民が自ら動くためのきっかけとなるような何かを作してほしい。	2	取組方針1では、市民の皆様の日々の健康づくりの参考にさせていただくため、世代ごとの京都ならではの健康づくりの代表例をとりまとめたものです。 健康づくりの取組は一人ひとり様々なので、市民の皆様が主体的に取り組まれている健康づくりを教えていただき、そのお寄せいただいた取組を表彰する制度を新たに創設するなど、皆様の取組を発信させていただき、一緒に健康づくりの輪を広げたいと考えています。 また、健康づくりに取り組むきっかけ作りとして、いきいきアプリやいきいきポイントの活用などだれもが気軽に健康づくりに取り組める環境づくりを推進してまいります。
5	運動すると気持ちが良いので、そういった気持ちを共有したり、広げていったりできると良い。	2	市民の皆様の健康づくりの取組を積極的に情報発信し、みんなで健康づくりの輪を広げてまいります。(P14, 15)
6	一人ひとりが正しい知識を持つために必要なことは。健康情報の内容など、まとめて取り扱っているところはないか。	1	栄養・食生活、歯と口の健康、身体活動・運動、こころの健康、喫煙、飲酒など健康づくりに欠かせない各要素に関する情報についてホームページ、パンフレットなど様々な媒体で周知を図っております。 (P20, 21) 本年1月から開始した、いきいきアプリの中では、健康づくりに関する様々な情報を掲載しておりますので、御活用ください。

7	取組方針にある自ら生活習慣を変えなければならないとあるが、小学生などで生活習慣が乱れている人は少ない。書き方を変えないのか。	1	生涯にわたる健康づくりは、胎児期(妊娠期)から意識して取り組むことが重要です。そのため、妊娠期からの健康づくり支援、喫煙、飲酒防止の支援など、心身の状況に合った健康づくりに取り組めるよう、関係機関、団体等と連携して支援することを盛り込みました。(P22)
8	世代間交流による情報交換により、それぞれの世代の食文化を考えるための健康促進につながるような取組を望む。	1	子どもからお年寄りまで幅広い世代が交流しながら、一緒になって学び、考えること目的とした多世代交流型イベントを実施しております。 また、健康づくりを通じて、市民の社会参加や市民同士のつながりを促進し、市民や民間団体等が周りの市民への働きかけ等を行うことにより、地域の皆様の主体的な健康づくり活動を支援してまいります。
9	親子で楽しめる取組等の情報を発信してほしい。	1	各区等においてもそれぞれの特色をいかしたイベントを開催しておりますので、それらを発信することで、健康への関心を高めてまいります。
10	表彰制度を進めるより、まずは健康づくりの事業を周知することが先ではないか。	1	栄養・食生活、歯と口の健康、身体活動・運動、こころの健康、喫煙、飲酒など健康づくりに欠かせない各要素に関する情報についてホームページ、パンフレットなど様々な媒体で周知を図っております。(取組方針(3)②)また、いきいきアプリの中では、健康づくりに関する様々な情報を掲載しておりますので、御参照ください。(P20, 22)
11	各区でどういった健康づくりをやっているか、知らないの、そういったところから力を入れていくべきだと思う。	1	
12	健康づくりに取り組む人を増やすためには、「はやり」を作ることが必要だと思う。	1	市民一人ひとりが笑顔で主体的に楽しみながら健康づくりに取り組んでいけるよう、それぞれの取組を表彰したり、情報発信するなど市民の皆様と一緒に健康づくりの輪を広げることを掲載しております。(P14, 15)
13	人間は食べないと何もできないので、食の重要性を伝えてほしい。	1	栄養・食生活について、正しい情報の普及啓発、生活習慣の確立、改善に向けた支援を掲載しております。(P20)
14	アプリや表彰制度、アルコールハラスメント等知らなかった取組が多くあり、それらが健康づくりや健康管理に結び付くようになっていくことに気付いた。	1	今後とも様々な機会を通じて健康づくりに関する情報発信等を通じて、市民の皆様が正しい知識を身につけて、行動していただけるよう取り組んでまいります。
15	フレイル対策が浸透するよう、いろいろなところで呼びかけていって欲しい。	1	本プランでは、フレイル対策の取組を掲げておりますが、まだ浸透していない言葉なので、様々な機会を通じて市民の皆様に広く周知してまいります。

③ 心身の状態に応じた健康づくりの支援(24件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	ストレス社会におけるこころの健康について触れてほしい。自殺対策、ストレス、うつ、睡眠不足などこころの健康に関する内容も大事だと思う。	3	地域とのつながりの中で、自治会やボランティア活動に取り組む、文化にふれ、スポーツを楽しむことは体のみならず、と心の健康長寿につながると考えております。そういったことを記載するとともに、自殺対策等こころの健康に関する内容を全体的に追記しました。
2	飲酒分野には啓発の取組以外はないのか。未成年者などを対象とした取組はないのか。	2	飲酒分野では、正しい知識等を身につけるための啓発が重要な取組です。未成年者には、学校のクラブやサークル活動の場における飲酒防止や伊つき飲みの防止が徹底できるよう、その保護者も含め、関係機関・団体と連携して普及啓発を行います。(P21, P44, 45)
3	自殺者の割合がなかなか減らない。京都市で先進的な対策を進める等力を入れて取り組んでほしい。	2	自殺対策は、こころの健康づくりにかかわります。あらゆる機会をとらえ、広報活動や教育活動等を通じた自殺の防止等に関する啓発を行い、お互いが気付きあい、相談しやすい地域づくりを促進することを掲載しております。(P21, P40, 41)
4	子育て世代の取組を充実してほしい。子育て期の人に健康づくりを進めるなら、母子家庭や子どもに対しての助成を増やすべき。	2	民間企業等と連携し、自由な時間が子育て世代が運動への関心を持ち、家事など日常生活の中で体を動かすことが実践できる運動など、時間がない方への健康づくりについても推進することを記載しております。(P19) また、本プランの取組においては、経済的な負担をかけず、家事など日常生活の中で体を動かすことが実践できるメニューをお示してまいります。
5	人生の転換期における健康づくりを進めてほしい。	1	大学などへの進学、就職、退職など人生の転換期における健康づくりの留意点を追記いたしました。(P23)
6	障害のある方が気軽に参加できるイベントがあればうれしい。	1	文化芸術活動、障害者スポーツの振興等をとらえて、障害のある方への健康づくりを推進することを掲載しております。(P22)
7	成人学生の宴席等における飲酒の強要等のアルコールハラスメントの防止などライフステージに応じた普及啓発とあるが、学生以外の世代も含めて、具体的にどのような取り組みをされるのか。	1	飲酒に関しては、未成年者、妊産婦に対し、飲酒防止を挙げ、飲酒習慣のある者に対しては、適正飲酒を推進することを掲載しております。(P21, P44, 45) 例えば、学校のクラブやサークル活動の場における未成年者への飲酒防止や伊つき飲みの防止が徹底できるよう、普及啓発を保護者も含め、行ってまいります。
8	運動がしたいので、気軽に運動できる施設を増やして欲しいが、日中は仕事をしており、夜間に利用できる施設を作って欲しい。	1	自由な時間が少ない働く・子育て世代が、運動への関心を持ち、通勤や仕事、家事など日常生活の中で体を動かすことが実践できる運動や一駅歩くこと、運動靴での通勤等を推奨することを掲載いたしました。(P19)
9	障害のある方、医療的ケアを必要とする方への具体的な取組はどうでしょうか。	1	医療的ケアを必要とする児童の受け入れに際し、看護師等を配置した民営保育施設に対して、人件費等の補助を行うための予算を要望しております。

10	睡眠は健康づくりにかなり重要な関係にあると思うので、睡眠について取り上げてほしい。	1	睡眠については、取組方針1に掲げる「京都らしい健康づくりの代表例」に掲載しております。(P14, 15)
11	健康づくりに関するフリーペーパー等を新聞や近所の回覧版に入れてはどうか。市民ぐるみを進めるのであれば、誰もが健康づくりの取組を共有できる環境づくりをすることが大切だと思う。	1	いきいき通信やリビング新聞に健康づくりに関する様々な情報を掲載しております。さらに今後、市民の皆様、関係機関・団体が取り組まれている、京都らしい健康づくりの代表例などを紹介することをおして、健康づくりの輪を広げてまいります。
12	お酒やたばこをやめない人も健康づくりができる方法があってもよいと思う。 地域のつながりがない人も健康づくりができる方法があってもよいと思う。	1	飲酒に関しては、未成年者、妊産婦に対し、飲酒防止を挙げ、飲酒習慣のある者に対しては、適正飲酒を推進しております。 また、喫煙に関しては、未成年者、妊産婦に対し、喫煙防止を挙げるとともに、成人の喫煙率の減少に向け、様々な形で禁煙サポートの内容を盛り込んでおります。(P21, P42, 43) 地域のつながりに関して、地域との関わりを持つことを望まない人もいます。 健康づくりは様々なので、心身の状況などに応じて自分に合った健康づくりに取り組んでいただきたいと考えており、取組方針2(3)②に掲載しています。(P20, 21)
13	13ページの生活習慣病重症化予防と介護予防の具体的なイメージができませんが、どういったものを想定されていますか？40、50で糖尿病、がんを発症するわけで、こういったケースの場合、介護予防？	1	介護が必要になった要因として、運動器機能の低下のほか、生活習慣病に関するものが多くなっています。介護が必要な状態にならないよう、運動を積極的に行ったり、外出の機会を確保するとともに、バランスの取れた食事、お口の手入れ等、生活習慣病の予防に取り組むことが大切です。 また、身近な地域に通いの場があることが、地域の顔なじみの関係の中での主体的で継続的な運動や外出につながることから、地域支え合い活動創出コーディネーター、地域介護予防推進センター、高齢サポート等による立ち上げ支援、運営支援、情報発信等を通じて広く通いの場の充実を進め、運動や外出の機会の拡大を図ります。併せて、ケアマネジメントの質の向上に取り組み、栄養や口腔の視点も含めた自立支援を行います。
14	歯と口の健康づくりは、全身の健康にとって大切と感じるため、もっと項目を増やしてほしい。	1	本市では、歯と口の健康増進から全身の健康増進、そして健康寿命の延伸へという考えの下、「口腔機能(口の働き)」の維持や「オーラルフレイル(口腔機能の虚弱)」への対策という新たな視点から、「歯と口の健康」に関する取組を重点的に推進するため京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」を本プランと合わせて策定しました。本プランとも連携を図りながら取組を推進してまいります。
15	高齢者に、口腔内環境を良くすれば誤嚥性肺炎のリスクを減らすことができることを伝えてほしい。	1	健康長寿・笑顔のまち・京都推進プランにおける「歯と口の健康」の取組を推進するため、京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」を策定し、誤嚥性肺炎予防のための歯と口の健康づくりの重要性を普及啓発していくとともに、とりわけ要介護高齢者の方等の口腔内環境を良くし、誤嚥性肺炎予防につなげていくための口腔ケアの推進に取り組んでまいります。
16	介護予防の取組を盛り込んでほしい。	1	地域介護予防推進センター等におけるフレイル(オーラルフレイル)対策を含む介護予防の取組を記載しております。(P18)

17	高齢期には、リハビリが重要となる。リハビリテーションセンターが中心となり、頑張してほしい。	1	本プランは、健康づくりに係るプランであるため、生活習慣病の予防や健康増進に係る取組を掲載しております。
18	地域以外のつながりについても検討してほしい。(障害者と健常者、観光客と京都市民など)	1	地域には様々な人々が暮らし、過ごしています。そこには、障害のある方やない方、市民の方や観光客の方も含まれると考えています。
19	自分に合った食事や運動の継続が大事だと思った。	1	健康増進のため、若い世代から心身の状況などに応じて自分に合った正しい生活習慣の確立と健康づくりが大切です。 自分に合った健康づくりを楽しみながら継続できるいきいきアプリや毎日の健康づくりでポイントを貯めて景品に応募できるいきいきポイントなどを活用し、市民の皆様が楽しみながら継続して日常生活をより活動的に送っていただくことを目指してまいります。

④ 「望まない受動喫煙」対策による健康的な生活環境づくり(11件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	受動喫煙防止対策を進めてほしい。	2	健康増進法の一部改正内容については完全実施(100%)していきます。また、法で義務化される内容にとどまらず、本市独自の取組として、あらゆる場面での受動喫煙防止に向けた取組を推進します。(既に平成29年度中から取り組んでいます。) 本市独自の取組として、受動喫煙による健康影響が大きい子ども、患者の方など特に配慮が人に対象を拡大し、関係団体等の御協力の下、受動喫煙防止対策の取組を進めることなど、あらゆる場面での受動喫煙を防止するため、様々な取組を掲載しております。(P24)
2	喫煙可能な飲食店の従業員などは、かなりの健康被害を受けているのではないかと思います。煙の濃度が高い場所から取り組んでみてはいかがでしょうか。	1	
3	コンビニの前での喫煙が目立つので、そういった場所への働きかけをしてほしい。	1	
4	京都市においても独自で受動喫煙防止対策について条例を策定するなど、厳しく取り締まってほしい。	1	
5	加熱式たばこも従来のたばこを同じ位置付けにして対策をお願いしたい。	1	加熱式たばこについては、厚生労働省が作成した「喫煙の健康影響に関する検討会報告書」(2016年8月)において「喫煙者及び受動喫煙者の健康へ悪影響を及ぼす可能性が依然として大きい」とされていることや、その煙にニコチン等の有害物質が含まれていることは明らかである一方、現時点の科学的知見では、受動喫煙による健康影響が明らかでないこと(2018年2月)等を踏まえ、本プランでは、加熱式たばこも、従来からのたばこに準じた取扱いとします。(P24)

6	スモーカーズフェイスの周知を施策に加えられるか。 (スモーカーズフェイス:喫煙は容貌に破壊的悪影響を与え、本プランが目指す“笑顔”を損なうこと、つまり老化を促進し、スモーカーズフェイスと呼ばれる。) ニコチン依存症患者の禁煙推進を施策に加えてほしい。	1	スモーカーズフェイスについて、本市が行う防煙セミナーにおいて喫煙している場合としていない場合の顔写真を使って、喫煙が健康に悪影響を及ぼす啓発も行っております。 喫煙者及び喫煙場所での啓発について、コンビニ店頭などの喫煙スペースにおける受動喫煙を防ぐため、人前でたばこを吸わないようにするなど、喫煙マナーの向上を啓発するためのステッカーの貼付依頼を行っております。
7	「喫煙マナー」の啓発を強化してほしい。 例えば、コンビニやコインパーキング内での喫煙等させないよう掲示をさせるなど要請してほしい。	1	
8	禁煙の取組を進めてほしい。とりわけ小規模飲食店での全面禁煙が大事である。	1	本市独自の取組として、本年1月から3月にかけて、市内飲食店7,000店舗へ郵送及び1,000店舗へ訪問による屋内禁煙への協力依頼等を行っております。
9	路上喫煙やごみのポイ捨てが目立つので、それらに対する対策の視点をに入れてほしい	1	京都市では平成19年6月に「京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例」を施行し、市内全域で路上喫煙を禁止しています。特に通行量が多く、やけど等の危険性の高い地域については、「過料徴収区域」(路上喫煙等禁止区域)に指定し、路上喫煙等監視指導員が毎日巡回し、また、路上喫煙者を発見した場合、1,000円の過料処分を行っています。当該区域以外でも路上喫煙禁止を周知するステッカー等を掲出したり、街頭啓発を行うことなどにより、条例の周知・啓発に努めています。プランにも「望まない受動喫煙」対策による健康的な生活環境づくり」として対策を盛り込んでおります。 また、ポイ捨てについて、ごみを「捨てない」意識づくり、ごみを「捨てにくい」環境づくり、ごみを「捨てさせない」仕組みづくりが必要であり、ポイ捨て防止の啓発看板の設置やパトロールの他、美化活動に取り組む地域団体への支援等市民、事業者に一体となって取組を進めてまいります。 (P24)
10	煙草の販売禁止、自動販売機の撤去等してはどうか。	1	煙草の販売については、法律に基づき実施されているものですが、本市においては、煙草の健康影響を踏まえ、受動喫煙防止対策をはじめとした取組を進めてまいります。

⑤ 身近な場所で健康診査等を受けられる環境づくり(15件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	純粋な医療の取組は不要か。不要なら、運動などもっと具体的にどういことをすればよいかしっかり明示してほしい。	6	本プランは、健康づくりに係るプランであるため、生活習慣病の予防や健康増進に係る取組を掲載しています。 運動をはじめ生活習慣にかかわる分野別取組については、本プランにおいて、まとめました。(P33～P47)
2	市が実施している健診の情報を載せてほしい。	5	自身の健康状態について定期的に把握するためにも、定期的な健康診断を受けることはとても必要なことであります。本プランでは、取組方針2(3)⑤に掲げているとおり、身近な場所で健康診査等を受けられる環境づくりに取り組むことを掲げ、さらに健康診査の重要性について説明を追記し、本市が実施している主な健(検)診について追記いたしました。(P25)

3	がんや糖尿病の医療費の問題が国でも話題になっているが、この冊子では取り扱わないのか。	2	がん検診の受診率向上の取組や、糖尿病重症化予防戦略会議の設置など、本プランに掲げております。(P25)
4	検診等の結果で健康づくりに取り組まないといけなくなる人もいると思うが、そういった人々への取組にも触れてはどうか。	1	身近な場所で健康診査等を受けられる環境づくりに取り組むことを掲げており、さらにコラムとして健康診査の重要性について説明を追記するとともに、本市が実施している主な健(検)診について追加しました。(P25)
5	健康に大切なのは、生活習慣と健診である。京都らしい健康づくりの代表例で下に来ているのには反対。	1	京都らしい健康づくりの代表例については、人・地域・文化とのおつきなまりと生活習慣、体をまもるはそれぞれ重要であり、取組としての重要度に違いはございません。

7 その他(52件)

No.	御意見・御提言要旨	件数	本市の考え方
1	健康ポイントを電子マネーなど使い勝手が良いものと交換できるような仕組みにしてほしい。抽選でなく、賞品ごとにポイント付けたりしてはどうか。	7	いきいきポイント事業の景品については、取組に御理解いただいた企業、関係団体等の皆様から無償提供をいただいているものです。 広く健康づくりに取り組んでいただくため、自主申告制度としている事業の性質上、直接金銭に関わるものの提供は難しい面がありますが、市民の皆様が、取組のきっかけになるような魅力あるものにしてまいります。
2	空欄でも投稿できれば良かった。3項目の質問は不要、一つで良かった。	4	今後の参考とさせていただきます。
3	いきいきアプリはおもしろいので、大々的に活用し、健康づくりの波を生み出してほしい。	3	いきいきアプリ等を活用し、仲間と一緒に楽しんで取り組める健康づくりに取り組み、健康づくりの輪を広げることを目指して、様々な取組と連携して推進してまいります。(P16)
4	医療費の削減について記載すべき。	2	結果として、医療費の減に繋がることはありますが、本プランは、健康寿命を延伸し、平均寿命に近づけることで、市民の皆様の生活の質を高めるなどできるだけ笑顔で楽しく過ごすことを目的として策定するものです。
5	健康づくりに関連する取組が多く掲げられているが、自分に直接かかわる取組かどうかわかりにくい。	2	取組方針1にも掲げている「京都らしい健康づくりの代表例」などで、世代ごとに健康づくりに役立つ生活習慣の代表例を挙げており、皆様の日々の取組の参考としていただきたいと存じます。(P14, 15)
6	健康づくりのシンボルキャラクター等を作って方針をPRしては。(例 健康長寿のまち・京都のロゴマークなど)	2	いただいた御意見を参考に、様々な形で本プランの方針をPRしてまいります。
7	京都の食の中で、京都ラーメンは他地域に比べ濃い味になっていると思うので、塩分過多にならないよう気を付けてほしい。	1	本プランや、「健康長寿のまち・京都食育推進プラン」に基づき、栄養・食生活分野の取組を推進する中で、バランスの良い食事をとることなどを普及啓発してまいります。

8	健康寿命, 平均寿命の説明が必要。	1	御意見を踏まえまして, 内容の説明について追記いたしました。 (P11)
9	健康長寿のまち・京都の説明が必要。	1	
10	理念, 取組方針以上にP7市民が主役の健康づくりが目立っているのだが。	1	市民が主役の健康づくりについては, 基本理念, 取組方針がその考え方の基にあります。
11	個人の視点がないように感じる。	1	取組方針に, 「健康づくりは市民一人ひとりが正しい知識を持ち, 自ら生活習慣を変えなければ効果を上げることができません。」と掲載しております。(P11)
12	プランをしっかりとPRして欲しい。	1	本プラン策定後は, 各区役所・支所への冊子の配架や健康長寿のまち・京都市民会議の構成団体等への配布, いきいきアプリ等の媒体をとおして周知を図るなど, 様々な形でPRしてまいります。
13	文化庁と連携したイベントを実施してほしい。	1	いただいた御意見を参考に, 今後とも大学, 民間企業, 商業施設, 関係団体等との協働による健康づくりを推進する中で, 様々な京都ならではの文化の視点から, 健康づくりの輪を広げてまいります。
14	地域から歯の健康を始める。	1	関係団体・機関等によるむし歯, 歯周病, 口腔機能などをはじめとしたライフステージに応じた歯科口腔保健知識の普及啓発など, 地域での取組を推進してまいります。
15	自分も健康づくりに取り組みたい。	1	本プランでは「市民が主役の健康づくり」の輪が広がるように, 取組方針1に世代ごとの「京都らしい健康づくりに代表例」を掲載しております。そちらを御参考にいただき, ご自身にあった健康づくりに取り組んでいただけると幸いです。
16	京都ならではのプレゼントをしては。	1	いきいきポイントのプレゼントについて, この取組に御理解いただいた企業, 関係団体等の皆様から無償提供をいただいております。今後とも企業, 関係団体等の御協力の下, 魅力あるプレゼントを検討させていただきたいと考えております。
17	健康づくりに関するイベントの開催をもっと柔軟な期間, 設定してほしい。	1	いきいきポイントやいきいき通信等, 様々な広報媒体を通して, 数多くの健康づくりに関するイベントを掲載しておりますので, 御都合の合う日時のイベントに御参加いただきたく存じます。
18	設問にある, 「地域の人と人とのつながりの中で」はどこで掲げているのか。	1	5ページ中, 「地域や人とのつながりの中で市民一人ひとりが」の文言を要約したものです。
19	区役所・支所の職員を身近に感じられれば, 市民生活が豊かになると思う。頑張してほしい。	1	今後とも, 区役所・支所職員が健康づくりを通じて, 市民の社会参加や市民同士のつながりを促進し, 市民や民間団体等が周りの市民への働き掛けを行うことにより, 地域の皆様の主体的な健康づくりを支援してまいります。
20	地域ではなく社会にしてみてもは。	1	自治会・町内会等の地域の関係団体を中心に行われる地域行事などに参加することも健康づくりに大切であると考えていることから, 「社会」でなく, 「地域」という文言を用いました。

21	なんとなくもっと足元を見てと感じた。	1	健康づくりの基本となる、食・運動などに関する記載が少ないことについての御指摘と存じます。 本冊子では、取組方針1及び取組方針2の中に、身体活動・運動、栄養・食生活など生活習慣を構成する要素(分野)に関する内容を盛り込むとともに、要素(分野)ごとの取組を分かりやすくするため、再掲しております。(P37～P51)
22	生活習慣の「いっしょに食べる」は、重要な項目だと思いますが、そのためにはシニアに対して入れ歯等の大切さを掲げてもらいたい。「8020」ではなく、入れ歯などで失った歯を補うことも含めて「8020で健康長寿」を目指してはどうか。	1	本プランにおける「歯と口の健康」の取組を推進するために「歯科口腔保健推進実施計画」を定め、8020運動や口腔機能の育成・低下予防等を推進してまいります。同計画で、ライフステージごとの取組を掲げており、その中で、高齢期の方に対し、「入れ歯などもしっかりと清掃しましょう」を掲げております。 今後とも8020運動や口腔機能の重要性を普及啓発していく中で、歯を失った際に入れ歯等でしっかりと補っていくことの重要性も併せてお伝えしてまいります。
23	学校や保育園で食育指導にボランティアで来てくださり、子ども達にもわかりやすく食についてお話をしてくださり、とても良かったです。地域でも地蔵盆などで大人も巻き込み食について関心がもてたらいいと思う。	1	今後も市民一人ひとりが食育に関心を持ち、健康づくりに取り組みやすい環境を整備するため、事業者や市民ボランティア等による主体的な健康づくりの取組や情報発信の拡充を図ってまいります。
24	すこやかクラブとは何か。	1	以下について、注釈を追記しました。(P20) 「すこやかクラブ」とは、「老人クラブの愛称」です。 老人クラブは、老人の知識及び経験を生かし、生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を行い、老後の生活を豊かなものにするとともに明るい長寿社会づくりに資することを目的とした団体です。 「老人」という言葉と現在のいきいきとした活動実態に隔たりがあり活動の障害となっているという声をうけ、すこやかクラブという愛称を、2014年に決めました。
25	健康づくりスポットを紹介してほしい。	1	いきいきアプリやいきいき通信をとおして、様々な健康づくりスポットを紹介しております。
26	京都市健康大使を活用してはどうか。	1	多世代交流イベントに登場いただくなど、健康づくりの機運醸成に多大な貢献をいただいております。今後とも、様々なイベントへの登場をとおして、健康づくりの機運を醸成してまいります。
27	パブリックコメントの意見をどうやって反映させるのか。	1	いただきました全ての御意見について、本プランへの反映について検討を行い、京都市民健康づくり推進会議及び関連各部会における御意見を踏まえ、本冊子を策定いたしました。
28	市民意見募集の回答に健康ポイント付与してはどうか。	1	いきいきポイント事業をよりよいものにしていくためのご意見としていただきます。
29	歯に関する内容を載せてほしい。豆知識とかがあったらうれしい。	1	本プランと合わせて、「歯と口の健康」に関する取組を重点的に推進する京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」を策定し、同計画内に、歯に関する内容、豆知識等を掲載しております。

30	食材の価格高騰によって、全国的に給食の内容がさびしくなっているというニュースを見た。価格高騰のあおりを子供が受けるようなことはぜひ避けてほしい。	1	食材の価格上昇に対応するため、平成27年4月に学校給食費を改定するとともに、安全で良質な食材の確保に向け、入札による調達等により、価格を下げる工夫と努力を続け、献立水準を保つよう努めています。今後も必要な栄養素を摂取しつつ、様々な食材を取り入れることにより子どもたちの味覚を育む献立の充実に努めてまいります。
31	文化の観点は大事なので、文化市民局がプランを作成したらよいと思う。	1	本プランは、健康増進法第8条第2項に規定する市町村健康増進計画に位置付けており、市民の健康づくりを推進するプランであることから、その所管課である当課にて策定したものです。
32	京都マラソンを盛り上げてほしい。	1	平成27年度の市民アンケートで、京都マラソン開催前に比べ週1回以上運動する市民の割合が48.4%から53.2%に増加するなど、京都マラソンの開催は市民の健康づくりに寄与しております。今後も、市民の健康づくりや、市民スポーツの振興のため、京都マラソンのさらなる盛り上げに向け努めてまいります。
33	市民意見募集そのものが健康づくりへの意識を図れるものだと思うので、積極的に周知しては。	1	市民意見募集については市民の皆様健康づくりに関する御意見を広く募ることを目的としておりますので、少しでも御意見を頂戴できるよう市内各区役所・支所、図書館への配架や、健康長寿のまち・京都市民会議の構成団体等へ配布するなどして、周知いたしました。
34	もっと他の取組もあると思うので、掲載してほしい。	1	骨子案では、取組方針に掲げる代表的な取組を掲載していました。本冊子において、健康づくりにつながる様々な取組について記載しました。
35	市民会議と連携すれば、他都市にはないものが作れると思う。	1	市民団体、関係機関、民間企業等が参画する「健康長寿のまち・京都市民会議」を中心に、本市と関係機関・団体等が連携し、京都の市民力・地域力を結集させ、社会や地域全体で市民が主役の健康づくりを支える環境づくりを推進しています。
36	人生100年を健康に迎える社会づくりをみんなで行なう取り組みたい。	1	本プランの基本理念である京都ならではの地域力・文化力の強みを活かした健康づくりを市民ぐるみで推進し、健康寿命を延伸し、平均寿命へ近づけ、笑顔でいきいきと健やかな「健康長寿のまち・京都」をみんなの実現してまいります。
37	仕事と健康づくりと地域活動への参加を実現するのは大変だと思う。まずは職員が率先して取り組んでほしい。	1	市民の皆様モデルとなれるよう、本市職員が、仕事と健康づくり、地域活動へ積極的に参加できるよう「真のワークライフバランス」などに取り組んでまいります。
38	骨子案の読み方は。	1	「こっしあん」と読みます。